

森本あんり著『反知性主義—アメリカが生んだ「熱病」の正体』を、静岡高校同期の川面忠男君が最近要約して「読書ノート」として送ってくれた。この本は2015年、トランプが大統領に選ばれる前に、トランプ勢力躍進の背景を説明するために書かれたものでもある。(結果的には「ヒラリー・クリントンがなぜ負けたか」の説明書といえる。)

この「読書ノート」を読み、僕の「反知性主義」理解が曖昧であったことを痛したので、にわか勉強をしてみた。その結果をまとめたのが、この報告書である。

森本あんりの著書の軸となっているのは、リチャード・ホーフスタッターが1963年に書き1964年に刊行された、『アメリカの反知性主義』(邦訳は2003。原題は『Anti-Intellectualism in American Life』)で、知性が権力と結びついたエリート主義への反抗を反知性主義としている。つまり、①「反知性・主義」ではなくて、②「反・知性主義」である、ということが分かった。後者はキリスト教的平等の立場を下地にして、知的権威やエリート主義(の越権)に異議を唱えるという態度を指し、否定的役割を果たすだけとは限らず、社会変革に役だつこともあるとのことだ。

「反知性主義」の意味として①が間違っているのではない。ホーフスタッターの定義と異なるということだ。日本では、①が日本での「反知性主義」解釈、②がアメリカでの解釈という説明が偶に見られるが、これは妥当ではない。確かに、内田樹編『日本の知性主義』は、その内容案内に「集団的自衛権の行使、特定秘密保護法、改憲へのシナリオ……あきらかに国民主権を蝕み、平和国家を危機に導く政策が、どうして支持されるのか?その底にあるのは『反知性主義・反教養主義の跋扈!』とあるので、①の解釈である。内田樹はホーフスタッターによる定義を否定しているわけではない。彼のサイト「内田樹の研究室」で次のように言う。『「あなたが同意しようとしまいと、私の語ることの真理性はいささかも揺らがない』というのが反知性主義者の基本的なマナーである。」

SF作家として有名なアイザック・アシモフは、1980年1月にNews Weekに書いた、『The Cult of Ignorance』で次のように言っている。

“There is a **cult of ignorance** in the United States, and there has always been. The strain of anti-intellectualism has been a constant thread winding its way through our political and cultural life, nurtured by the false notion that democracy means that 'my ignorance is just as good as your knowledge.'” (下線 虎長)

最後の「民主主義は『私の無知はあなたの知識と等価である』という誤った認識」という部分は、内田の反知性主義者のマナーに関する前述の言葉と響き合う感じがする。

ロラン・バルトが明らかにしたように、無知というのは知識の欠如なのではなく、知識に過飽和されていて、未知が見えなくなったり、新たな未知を受け入れることができなくなったりすることを言う。狭隘になった知性が無知なのだ。松岡正剛が指摘するように、反知性というのは、無知とは少し異なり、「知性一辺倒ではありたくない」という、権威的知性や知識人の大同団結に対する反発なのである。

『アメリカの反知性主義』は、ジャクソンがアダムスに、アイゼンハワーがスチーブensonに大統領選で勝ったのはなぜかを調べるために、初期ピューリタニズム分析し、その大衆的復興に反知性主義が芽生えたと見た。歴史的には「反・知性主義」が積極的役割を果たした僅かな例（上からの教会義務付けをやめて信仰を自由にしたこと）、危険な役割を果たした例(マッカーシズムなど)の方が多く、そうならないように願望し警告したかったのが、ホーフスタッターの真意ではないかと僕は思う。1968年にホーフスタッターが行った講演『アメリカで暴力を如何に止められるか』（キング牧師やロバート・ケネディーの暗殺があった頃だ）を YouTube で聴いて(録画はない)、そう感じた。

YouTube で、アメリカの大学が催した「反知性主義」の Internet 講演もいくつか聴いてみたが、ホーフスタッター「反・知性主義」定義には敬意を表しつつ、「反知性・主義」を批判したものが多く、ヒトラー、フランコ、ポルポト、ピノチェット、末期の毛沢東などが例示されている。日本ではネット上で安倍さんが「反知性・主義」と批判されることが多かったがトランプとあれだけ仲良しだったから当然か？ 幸いトランプと縁が切れることになった菅さんが最近では、「反知性」に加え「無教養」とまで批判されている。悲しいことだ。

以上